

広報誌

和

第82号

2019.3



公益社団法人 神奈川県柔道整復師会

目 次

巻 頭 言	会 長 牧 野 吉 一	・ ・ ・
連載企画		
接骨院と家族の関係（ノンフィクション）	顧問弁護士 加 藤 興 平	・ ・
県 だ よ り		
平成30年度保険講習会について	保 険 部	・ ・
第37回神奈川県柔道整復師会柔道大会開催報告	広 報 部	・ ・
第42回日整全国柔道大会南関東大会	広 報 部	・ ・
平成30年度テーピング講習会開催報告	広 報 部	・ ・
第27回日整全国少年柔道大会・第8回日整全国少年柔道形競技会	広 報 部	・ ・
第42回日整全国柔道大会・平成30年全国柔道整復師高段者大会	広 報 部	・ ・
綾瀬市健康スポーツフェスティバル	広 報 部	・ ・
横浜マラソン2018大会ボランティア救護活動	広 報 部	・ ・
2018川崎国際マラソン接骨ボランティア活動報告	川崎支部 長 嶋 京 子	・ ・
新入会員学術講習会開催報告	学 術 部	・ ・
一般市民に対する学術講習会（生涯学習講習会）開催	学 術 部	・ ・
第41回関東学術大会茨城大会	広 報 部	・ ・
平成30年度KGC春季大会開催報告	KGC 宮 本 嘉 保	・ ・
平成30年度KGC秋季大会開催報告	KGC 宮 本 嘉 保	・ ・
会 員 投 稿		
水口修孝先生を偲んで	横浜北支部 鈴 木 慎 吾	・ ・
坂本周作会員を偲んで	横浜西支部 矢 澤 正 司	・ ・
高校2年の娘が左手小指中節骨掌側の裂離骨折を受傷	湘南支部 佐 藤 和 義	・ ・
支 部 だ よ り		
第39回九都県市合同防災訓練に参加して	川崎支部 車 耕 一	・ ・
横浜北支部意見交歓会	横浜北支部 隆 淳 一	・ ・
栄区民まつり	横浜中支部 石 井 健 太 郎	・ ・
横浜南支部夏期学術講習会	横浜南支部 新 堀 卓 哉	・ ・
総合防災訓練	平塚支部 大 久 保 吉 純	・ ・
大和市駅伝競走大会（スポーツ健康相談）	大和支部 永 田 浩 将	・ ・
相模支部に入会して一年を振り返って	相模支部 椎 名 孝 之	・ ・
小田原支部活動報告	小田原支部 山 本 裕 太	・ ・
事務局だより	事務局 高 木 良 平	・ ・
川 柳	平塚支部 石 川 照 夫	・ ・
編集後記		・ ・ ・



巻 頭 言

会 長 牧 野 吉 一

はじめに、我々、業界の根幹をなす、受領委任制度を確固たるものにするため、柔道整復師が健康保険を取り扱う施術管理者となるために新たな要件が加わり、平成36年にこの制度に完全移行するための、特例措置としての実務研修、講習が昨年より開始されました。

神奈川県においても、昨年9月、本年1月の二回の講習会が実施され、本会、理事会から二名の講師を派遣し、保険取扱い、柔整業務全般についてそれぞれ講義を行っております。

次年度も秋以降に同様の講習会が実施される予定であり、今後とも本会として全面的に協力していく所存であります。

次に、大きな変化を遂げる社会環境に対応するため、次年度より施術療養費の電子請求が、東京都をテストケースとしてスタートする予定と聞き及んでおります。

今後、全国47都道府県が一齐に開始できる体制が整いしだい、療養費の電子請求が開始される予定ではありますが、一齐にスタートするためには各都道府県での準備にかかる時間が相当有することが、当然、必要となりますので、今後の開始時期については、数年以上の期間がかかるものと考えております。

そして、公益事業については、本県が実施しております「未病」プロジェクトに参入し、一層の公益事業の展開、推進に向けて地域住民、県民、国民の間に、柔道整復が必要な存在として、認識され、さらなる、信頼関係の構築に向け努力をしてまいります。

最後に、関係各位、会員各位との連携のもと、我々、柔道整復師の生活権の根幹である受領委任制度を強固なものとするために、適切で強力な本会運営を目指し、また医療経済における柔道整復師の業務の有効活用を一層拡大するための「学」を構築する「場」である学術大会、各講習会のブラッシュアップを行う所存であります。

したがいまして、本年も昨年以上の、会員各位のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上



顧問弁護士相談室

「接骨院と家族の関係（ノンフィクション）」

銀河総合法律事務所

弁護士 加藤 興平

1 今回「弁護士相談室」の執筆のご依頼を受けました。少し趣旨が違うかと思いますが、この度は、ノンフィクションで、私の家族と柔道整復師の先生との関係を、ご紹介させていただきます。

2 ぎっくり腰

私は、平成11年に弁護士登録して20年がたちました。現在47歳です。体力には多少の自信があります。中学1年生の長女は、チアリーディング部に所属しており、自宅でよく前転の練習をしています。

昨年8月15日の午後7時頃、私は、長女から、前転の練習をする際の補助をして欲しいと頼まれました。補助の時、私の腰は「ポキッ」という音と共に限界を超え、私は思わずしゃがみ込み、動けなくなってしまいました。ぎっくり腰のようです。2日後の8月17日に朝から家族旅行で海に行く予定です。これでは、海に入るところか、旅行に行くことすらできません。時間は午後7時、治療を受けたいですが、見てくれるところなどないでしょう。本当に困りました。

そんな時、妻が、「以前に行ったことのある接骨院が近くにあるから、行ってみたら。」と提案しました。私は、早速、接骨院に電話してみました。その接骨院は、電話の様子から、患者さんで一杯のようでした。にもかかわらず、とても親切に対応してくださり、「今から来れますか？」とおっしゃられ、私を見て下さるといのです。私は、本当に救われました。すぐに家を出て、何とか足を引きずりながら接骨院までたどり着きました。やはり、接骨院は、患者さんで一杯でした。少し待ち、施術を受けることができました。

柔道整復師の先生に、優しく丁寧に施術して頂きました。施術の時間は30分程度でしたでしょうか。私の帰り道の足取りは、施術の効果で、ずいぶん軽くなりました。これなら何とか旅行に行けると、私の心も軽くなりました。翌日の8月16日も、もう一度、接骨院で見て頂きました。まだ腰は痛みますが、少しずつ回復しているのが分かります。柔道整復師の先生が「気をつけて旅行に行ってください。帰ってきたら、すぐに看せに来て下さい。」とおっしゃいました。

2 悪化

家族旅行中、私の腰は日に日によくなっていきました。旅行先のホテルには、トレーニングルームがありました。私は、早朝、トレーニングルームで、バーベルを使ったフリーウェイトのトレーニングを始めました。本当にバカでした。腰はすぐに悲鳴を上げました。それどころか、左足太ももの内側にしびれが出てきてしまいました。

その日、子供達とシュノーケリングをすることになりました。左足にゴム製のフィン（足ひれ）をつけようとしたとき、腰に激痛が走り、目の前がゆっくりと暗く

なり、気持ち悪さで立ってられず、倒れそうになりました。その時、近くにいた屈強なライフセーバーに抱きかかえられ、転倒を免れました。数分で意識が戻りました。ライフセーバーは、映画の俳優と見間違えるような美男子で、ボディービルダーのような素晴らしい体をしていました。私の腰の痛みと左太ももの内側のしびれはひどく、これ以後、家族旅行で子供達と遊ぶことはできなくなりました。

8月17日の旅行からの帰り道、私は接骨院に飛び込みました。柔道整復師の先生は、「トレーニングは、きちんと回復してからにしましょう。私も経験がありますよ。」と私の腰と足の施術をなされながら、私の心の傷まで施術してくれました。

3 完治

私は、職場の同世代の同僚の弁護士から、「腰はもう治らないですよ。足のしびれもなおらないですよ。私も腰痛持ちですから。」と言われ、絶望に陥りました。このままでは、走るところか、一生左足を引きずる生活です。

私は、すがるような思いで、接骨院に通いました。9月15日には足のしびれはあるものの何とかゴルフができました。10月27日には足のしびれもなくなり、ゴルフを楽しむことができました。柔道整復師の先生の施術のおかげで、今では、私の体は完治し、ゴルフとウェイトトレーニングを、従前通り、楽しんでいきます。

4 紹介

今年1月の午後7時頃、長女が学校から帰宅しました。長女は、チアリーディング部の部活で、左肩を痛めました。長女は、今から、病院に行きたいと叫び散らしていました。昨年5月の入部説明会の際、部の顧問の先生は、「練習が厳しいので生徒達はよく怪我をします。近くで行きつけの整形外科か接骨院を探しておくようにして下さい。」と言っていたそうです。

妻は長女に対して「パパが行った接骨院に行く？」と言い、すぐに接骨院に電話しました。接骨院は、とても忙しいにも関わらず、長女のわがままを聞き入れてくれました。長女は1人で接骨院まで歩いて行き、柔道整復師の先生に怪我を自ら説明し、施術を受け、ご機嫌で帰宅しました。柔道整復師の先生は、中学1年の長女が一人で来院することを受け入れて下さるばかりか、長女の怪我を施術するだけでなく、長女の心のケアまでなさって下さいました。

柔道整復師の先生の包容力と素晴らしい技術には、本当に頭が下がります。

5 私が弁護士として相談を受けた交通事故の被害者の方達は、皆さん、口をそろえて、「体を元の健康な状態に治すために、接骨院に通っているんです。」「接骨院が必要なんです。」とおっしゃられています。私の家族も同意見です。

私は、柔道整復師の先生方が患者さんに施術なされるように、時間を問わず、困った方の法律問題を解決するだけでなく、心のケアをできるような弁護士になりたいと考えています。

神奈川県柔道整復師会の先生方、何かありましたら、遠慮無く、当職宛てにご相談下さい。これからも、末永く、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

以上

第30年度保険講習会について

広 報 部

平成30年6月9日(土)、7月29日(日)、10月20日(土)、12月16日(日)、平成31年2月17日(日)、平成31年3月16日(土)、公益社団法人神奈川県柔道整復師会会館(以下、当会とする)にて保険講習会が行われた。尚、平成30年度より保険講習会は年6回開催する運びとなり、保険取り扱いに関する時事情報を含めた「健康保険」、「労災保険・自賠責保険」のテーマを1クールとし、年間3クール(計6回)を実施することにより、より多くの方々の参加しやすい講習会となっている。

第1回・第2回講習内容

1. 算定基準の一部改正(平成30年5月24日付通知)等について
2. 患者照会および返戻・不支給への対応等について
3. 質疑応答

第3回・第4回講習内容

1. 労災保険について
2. 自賠責保険について
3. 質疑応答

第5回・第6回講習内容

1. 療養費の取り扱いについて
2. 労災保険、自賠責保険について
3. 質疑応答

講義は、当会荏谷満郎保険部長、五十嵐一登部員・高橋尚三部員が講師を務め、算定基準の一部改正、労災保険・自賠責保険の仕組みや、取り扱う際の注意点、保険会社対処法、現状等、詳しくパワーポイントを駆使し質疑応答を混ぜ、説明にあたった。

患者紹介及び返戻・不支給の講義では、当会保険部が知り得る情報や知識を基に健保組合や委託調査会社の現状や返戻時の対処法、自賠責保険が使える時、使えない時、適切な治療期間と後遺障害等を解説した。

最後に質疑応答として、普段の保険請求業務に対し各会員がかかえている返戻や質問等、当会保険部長をはじめとする保険部が個別に相談出来る窓口を設け、数多くの会員の相談を受け付けていた。



第 37 回神奈川県柔道整復師会柔道大会開催報告

広 報 部

平成30年7月8日（日）神奈川県立武道館において、標記大会が開催され無事成功裡に終了いたしました。

《少年の部》

個人戦、第27回日整全国少年柔道大会神奈川県選抜チーム予選、第8回日整全国少年柔道形競技会神奈川県予選に合わせて424名が出場いたしました。ここに、次のとおり試合結果をご報告いたします。

【第27回日整全国少年柔道大会神奈川県選抜チーム】

6年生	優 勝	鏑木 克優	（古賀塾）	準優勝	栗原 穰	（愛柔会）
5年生	優 勝	山口 賢哉	（平 柔）	準優勝	石川 奏汰	（平 柔）
4年生	優 勝	小口 力斗	（一道館）			



【第8回日整全国少年柔道形競技会神奈川県出場選手】

濱名道場 取 井上 悠馬（6年生） 受 菅野 和人（6年生）



《会員の部》

団体戦6チーム、個人戦に50歳代2名、40歳代2名、30歳代1名、20歳代1名が出場いたしました。次のとおり試合結果をご報告いたします。

【会員団体戦】

1回戦 横浜南支部 1 - 2 横浜西支部 川崎支部B 1 - 1 平塚支部
 (代表戦)
 準決勝 川崎支部A 2 - 1 横浜西支部 川崎支部B 0 - 3 横浜中支部
 決勝 川崎支部A 2 - 1 横浜中支部

 優勝 川崎支部A
 準優勝 横浜中支部
 3位 横浜西支部 川崎支部B



【会員個人戦】

50歳代 優勝 徳留 義見 七段 (相模)
 40歳代 優勝 根岸 清道 五段 (横須賀)
 30歳代 優勝 坂本 周作 五段 (横浜西)
 20歳代 優勝 横尾 大悟 四段 (川崎北)

【技能優秀選手】(団体戦出場選手から選出)

横尾 大悟 四段 (川崎A) ・ 斎藤 峰暁 五段 (川崎A)
 菅井 大輔 参段 (川崎B) ・ 坂本 周作 五段 (横浜西)
 森 不二夫 四段 (横浜中)

会員各位のご協力、応援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

第42回日整全国柔道大会南関東大会

広 報 部

平成30年7月28日（土）船橋市武道センターにて開催された標記大会に下記の会員が出場いたしました。

監 督	小川 高巧	八段（横浜南）
50歳代	徳留 義見	七段（相 模）・宮本 隆弘 七段（湘 南）
40歳代	森 不二夫	四段（横浜中）・清水 泰平 六段（川崎北）
30歳代	根岸 清道	五段（横須賀）・坂本 周作 五段（横浜中）
20歳代	横尾 大悟	四段（川崎北）
審 判	英 道生	八段（横浜中）・大友 隆雄 六段（横浜北）

南関東チームは昨年度全国優勝を成し遂げたため、当該柔道大会規程に基づき、今年度大会には、2チームが出場いたします。

※南関東のチーム編成は次のとおりです。

「南関東 A チーム」

監 督	吉田 正治	七段（千 葉）
大 将	宮本 隆弘	七段（湘 南）
副 将	根岸 清道	六段（横須賀）
中 堅	岡本 雅信	六段（千 葉）
次 鋒	渡邊 公参	段（千 葉）
先 鋒	横尾 大悟	四段（川 崎）

「南関東 B チーム」

監 督	小川 高巧	八段（横浜南）
大 将	徳留 義見	七段（相 模）
副 将	森 不二夫	四段（横浜中）
中 堅	渡邊 健司	五段（千 葉）
次 鋒	奥川 賢一	五段（千 葉）
先 鋒	山本 秀太	参段（千 葉）



※30歳代に選出されました坂本選手は諸事情により、根岸選手に変更となりました。

平成30年度テーピング講習会開催報告

広 報 部

平成30年9月2日（日）本会会館にて標記講習会を開催いたしました。暑さが厳しい中、本会員及び勤務柔道整復師、呉竹学園の教員、学生など他方面よりテーピング技術の向上を目指して参加頂きました。

講師にアスレチックトレーナーチームBIGBEAR代表 大隈重信先生に依頼。ユタカ商事、酒井医療機器両社に協賛いただきました。

大隈先生には足関節や膝関節のKTテープの貼り方を紹介して頂き、学生の為にマニュアル通りの基本的な技術及び現場で必要とされる応用技術についてご講義頂きました。

KTテープは、世界各国のアスリートも愛用する色もカラフルで固定力も強くかぶれにくいのが特徴です。

また、本講習会で学んだテーピング技術を施術所や各種競技の救護の場で活用して、それらの現場で生じた疑問を次回の講習会で確認して頂く事により、更なる技術向上につながると思います。

今回は、時間の都合上大隈先生の実技のみとなりましたが次回は、参加者の実技も含めての開催を予定しております。

今後も皆様にお役にたてるような講習会を開催してまいりますので、奮ってご参加くださいます様お願いいたします。



第27回日整全国少年柔道大会・第8回日整全国少年柔道形競技会

広 報 部



平成30年10月7日（日）講道館で第27回日整全国少年柔道大会、第8回日整全国少年柔道形競技会が開催されました。標記大会の出場チーム写真、試合結果は以下の通りです。

文部科学大臣杯争奪 第27回日整全国少年柔道大会

優 勝 兵庫県
 準優勝 神奈川県
 3 位 愛媛県
 秋田県
 敢闘賞 京都府
 岐阜県
 北海道
 宮崎県

フェアプレー賞

優秀選手賞

石川県
 岡山県
 大分県
 和歌山県
 山内 煌（兵庫県）
 吉田 征矢（兵庫県）
 鏑木 克優（神奈川県）
 福原丈一郎（愛媛県）
 藤井 統司（秋田県）



文部科学大臣杯争奪 第8回日整全国少年柔道形競技会



優 勝 兵 庫 県
準 優 勝 青 森 県
3 位 神 奈 川 県
4 位 北 海 道 B



第42回日整全国柔道大会・平成30年全国柔道整復師高段者大会

広 報 部

平成30年10月7日（日）講道館で、第42回日整全国柔道大会、平成30年全国柔道整復師高段者大会が開催されました。標記大会試合結果は以下の通りです。

「南関東 A チーム」

監 督 吉田 正治 七段（千 葉）
 大 将 宮本 隆弘 七段（湘 南）
 副 将 根岸 清道 六段（横須賀）
 中 堅 岡本 雅信 六段（千 葉）
 次 鋒 渡邊 公 参段（千 葉）
 先 鋒 横尾 大悟 四段（川 崎）

「南関東 B チーム」

監 督 小川 高巧 八段（横浜南）
 大 将 徳留 義見 七段（相 模）
 副 将 森 不二夫 四段（横浜中）
 中 堅 渡邊 健司 五段（千 葉）
 次 鋒 奥川 賢一 五段（千 葉）
 先 鋒 山本 秀太 参段（千 葉）

厚生労働大臣旗争奪 第42回日整全国柔道大会

優 勝 近 畿
 準優勝 北信越西部
 3 位 東 北
 北関東

優秀選手賞 木村 友慈（近 畿）
 湊谷 知幹（近 畿）
 窪田 和樹（北信越西部）
 渡部 康光（東 北）
 菅野 真貴（北関東）





平成30年全国柔道整復師高段者大会

優秀選手賞

五段の部	山崎 昌司 (富山県)
	木下 正規 (山口県)
七段の部	奈須 開生 (宮崎県)
八段の部	倉井 洋治 (栃木県)



綾瀬市健康スポーツフェスティバル

広 報 部

10月27日（土）綾瀬市市民スポーツセンターにて「綾瀬市健康スポーツフェスティバル」が開催されました。

同フェスティバルでは、健康づくりとスポーツが同時に体験でき、講演会や健康・体力測定その他、日常に取り入れられる運動などが楽しめるイベントであり、参加者が見て、体験して、運動しながら健康の大切さを楽しく体感できるイベントです。

（公社）神奈川県柔道整復師会では「膝・足のバランス測定」とし、兼ねてより整体ポール歩行・YAWARAウォーキングで活躍されている渡邊 英一会員（湘南）、高橋 廣成会員（湘南）、池田 滋会員（湘南）を中心とし、O.Aシャープご協力のもと、足底分圧を測定し、測定結果を評価、立位バランスを体験の後、整体ポール歩行・YAWARAウォーキングにて運動指導を受け、再度測定分圧を測定し運動前後での測定分圧の変化から、日常生活での歩行の大切さを体感していただきました。

受付開始より直ぐに定数60名に達し、日頃できない貴重な体験を熱心な指導のもと、参加者全員汗を流しながら笑顔で体験していました。また、歩行指導後に再測定、再評価の際あまり変化のみられない方、運動時や日常生活動作にて痛みを訴える方へ応じた各種テーピング技術の紹介も行い、参加者の方々に体験していただきました。



「横浜マラソン2018」大会ボランティア救護活動

広 報 部

平成30年10月28日、「横浜マラソン2018」が開催されました。昨年の大会が台風の影響で中止になったことをうけて約2万8000人もランナーが、みなとみらい大橋をスタートし、ゴールのあるパシフィコ横浜を目指して爽快に走り抜けた。

(公社)神奈川県柔道整復師会では、パシフィコ横浜にて大会ボランティアとして参加、ケアコンディショニングブースを設営し、本会会員37名、日本体育大学教諭1名、学生17名が出走前後の選手約400名のケアコンディショニングに努めました。

大会当日は天候に恵まれ、大きな外傷も無く、大会初期の頃よりコンディショニングに携わっていた会員の指示のもと、今大会より参加して頂いた学生ボランティアの健闘もあり、一人でも多くの大会参加者へのケアコンディショニングに努める事が出来ました。

今後もこのような活動を通し、(公社)神奈川県柔道整復師会より多くの地域へと貢献出来ればと思います。



2018川崎国際多摩川マラソン接骨ボランティア活動報告

川崎支部 長 嶋 京 子



活動救護員…高橋 宏広・長嶋京子

活動年月日…平成30年11月18日(日)

活動場所…等々力競技場

《処置内容》

レース前

1名⇒右膝、左膝及び左下腿部キネシオテーピング

レース中

スタートしてしばらくして道路の盛り上がりの段差で捻り負傷。そのままレース続行。

⇒右足関節（踵腓靭帯）捻挫 処置・アイシング後テーピング固定

マラソン走行中に激痛が走り負傷、そのままレース続行。ゆっくり走っていたのでとりあえず完走できたが...との事。⇒右下腿部（内側腓腹筋）軽度挫傷 処置・アイシング後キネシオテープ、アイシングシート貼付。

上記同様に走行中負傷。⇒右大腿部内側（内転筋）軽度挫傷 処置・アイシング後ストレッチ及びキネシオテープ、アイシングシート貼付。

以前より少し痛みがあり、今回レース後に痛みが強くなったとの事。

⇒右外側腸脛靭帯炎症痛 処置・アイシング後ストレッチ及びキネシオテープ、アイシングシート貼付。

上記同様⇒右、左膝関節外側痛及び腸脛靭帯炎症 処置・アイシング後ストレッチ及びキネシオテープ貼付。インソール等の指導。

レース後痛み強くなり歩行困難。⇒右ハムストリング筋痙攣及び左腸脛靭帯炎症痛 処置・アイシング後ストレッチ及び軟膏塗。

上記同様⇒右大腿四頭筋筋痙攣 処置・アイシング後ストレッチ及び軟膏塗。

《活動感想》

大きな負傷者もなく無事に終わりました。今回は例年になく負傷者、事故等がなく非常に珍しいとの事でした。昨年同様に国士舘大学の救急救命の方で問診等を行い、その後に施術依頼がこちらに来ているといった形で行いました。ブースの方にも昨年お願いした通り、ベッド等の設置もしていただけておりとても助かりました。今年の傾向として、やはり新鮮外傷というより筋痙攣や障害程度の疼痛が多いようです。横浜マラソンとは違い、規模等も小さいので施術後のケアや指導アドバイスが出来ますので、お見えになった選手の皆さんが喜んで戻られる様でした。ただ、こちらの方もそれなりの準備をしとかななくてはとつくづく思いました。来年も依頼が来ると思いますので、来年される先生方にしっかりとお願いしたいと心より思います。



新入会員学術講習会開催報告

学術部 柴 田 大 輔

平成31年2月2日（土）午後6時から、本会会館にて表記の講習会を開催致しました。講師に埼玉県立小児医療センター 整形外科医長の及川昇先生をお招きし、「小児整形外科について」という演題で御講演を頂きました。

及川先生は、川崎支部（旧川崎北支部）の故及川悦博会員のご子息であり、故及川金三郎会員のご令孫に当たります。そのため、幼少の頃より柔道整復業との関わりが深いため、柔道整復業界に多大なご理解を頂いております。

今回は、及川一門で及川金三郎先生が創立し、及川悦博先生が館長を務めていた中原柔道館の門弟である原部長たつての依頼をご快諾頂き、講演を行って頂きました。

先生は、変形性股関節症、変形性膝関節症、リウマチ、関節外科、スポーツ外傷などを専門とされており、日本整形外科学会の認定医であります。日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本人工関節学会、東日本整形災害外科学会、関東整形災害外科学会などに所属され、近年では小児専門の病院にて小児整形外科に携わられております。

今回の講演では、会員が飽きぬように時折、及川金三郎先生や悦博先生の写真などを交えつつ、鑑別の難しい小児の症例などを丁寧に解説して下さいました。

また、関節外科専門医ということで、質疑応答では小児の外傷以外の分野でも快くご回答下さり、実りのある講習会が開催できました。

残念なことに、対象となった新入会員の出席率が悪く、学術部としては次年度への課題を残す結果となってしまいました。毎年、開業したての会員の知識の補完のために、どのような講師の先生を招聘するか四苦八苦しなから、少しでも会員のためになる講習会の開催をと、歴代の学術部の諸先生方が粉骨砕身、講習会の開催をしております。

新入会員の先生方、次年度の講習会も次期学術部が総力を結集して開催することとなるはずですが、多少なり、時間を割いて頂きまして、ご聴講して頂きたく、何卒宜しくお願い申し上げます。



一般市民に対する学術講習会（生涯学習講習会）開催

学術部 柴 田 大 輔

平成31年2月2日（土）午後4時から、本会会館にて表記の講習会を開催致しました。「YAWARAポール歩行の体験講習会」と題して、藤沢市や鎌倉市でYAWARAポール歩行普及活動を行っている湘南支部の渡辺英一会員、池田滋会員、高橋廣成会員、小川明会員が講師となり、一般の方や会員を対象に講演と実際の歩行指導を行って頂きました。

受付を済ませた方から順に、電動血圧測定器にて自身の血圧を測って頂き、アセスメント用紙に記入を済ませ、次にポールの長さを調整してから着座して頂いたため、普段から開催している学術講習会とは一風変わった景色が新鮮でした。

前半は座学で、最近流行しているノルディックウォーキングの基本動作と同様の有酸素運動でも、YAWARAポール歩行の場合は柔道の手の使い方を応用している点などを一般の方でもご理解頂けるよう、丁寧に解説して頂きました。

後半は、4人の講師が少数グループに分かれた聴講者について、実際に歩行指導を行って頂きました。プロである会員も、最初は困惑しながら、指導を受けておりましたが、皆さん歩き方に違いがわかると面白くなってくるのか、大ホールを所狭しと歩かれておりました。

柔道で過酷な負荷をかけ続け、半月損傷で荷重歩行がままならない会員から、「これなら歩きやすい」と感嘆の声が聞かれ、盛会に終わりましたことをご報告致します。



(公社) 日本柔道整復師会第41回関東学術大会茨城大会

広 報 部

平成31年3月10日(日)公益社団法人日本柔道整復師会主催、公益社団法人茨城県柔道整復師会主管、茨城県・つくば市後援にて、第41回関東学術大会茨城大会が、つくば国際会議場で開催されました。

午前の部は、工藤鉄男大会会長の大会開始挨拶に始まり、茨城県在住の内閣府地方創生推進事務局参事官補佐の横田清泰様による特別講演、工藤鉄男公社日整会長により基調講演が行われました。

午後の部は、三谷誉公社日整特別諮問委員による介護保険に関する講演の後、神奈川県代表小田原支部田代昌孝会員他、関東ブロックの各県代表による研究発表。講師、発表者に表彰及び記念品贈呈の後、次期開催県の大藤忠昭群馬県会長による閉会の辞にて終了いたしました。



平成30年度KGC春季大会開催報告

K G C 宮 本 嘉 保

平成30年度の春季大会を平成30年4月30日（日）に厚木国際カントリークラブで開催いたしました。平成29年度の秋季大会（小田原GC松田コース）と冬季大会（厚木国際CC）は何れも天候に恵まれずに雨で中止となりましたので、1年振りの大会に5組20名が集まって

お互いに再会を喜び合いました。この厚木国際CCでは、数年前から東INコースから平成の大改修を行っていらしたので暫く使用が出来ませんでした。この度改修を終えて新たにリニューアルされたコースは以前と全く景色が変わってしまい、何処か別のゴルフ場に来たかのような新鮮な感じを受けました。午後は西OUTコースを回り、時折眼下に広がる厚木の市街地を眺めながら息抜きをして、それぞれ優勝目指して奮闘いたしました。大会が無事に終わって、表彰式の前には平成30年度定例総会を開催致しました。総会議長は平成21年から9年間もの長い間、会長を務めて頂きました川崎支部の川口禮敬会員から交代いたしまして、平成30年から新しく会長を務めることになりました平塚支部の上倉隆男会員が議長を務めました。総会も無事に終わって、いよいよ成績発表となりました。高齢者軍団を見事なまでに粉碎撃破して優勝したのは、小田原支部の高橋尚三会員でした。以下、成績順は次の通りとなりました。

- 優 勝 高橋尚三（小田原支部）
- 準優勝 鈴木 宏（川崎支部）
- 第3位 鈴木洋一（相模支部）
- 第4位 新谷久志（平塚支部）
- 第5位 木村栄吉（平塚支部）

平成30年度KGC秋季大会開催報告

K G C 宮 本 嘉 保

神奈川県柔道整復師会ゴルフ部会（以下、KGC）では、毎年暑い夏を避けて春・秋・冬と年3回の大会を開催いたしております。開催日は日曜日か祝日の仕事に影響のない日に、神奈川県内のゴルフ場を利用して開催いたしております。また2年に1度の割合で、土曜日の午後を利用して地方まで足を延ばして大会を行っております。北海道、北陸、最近では平成27年の秋季大会を東北復興を願って福島県小名浜で開催いたしました。平成30年度総会の席上、今年度の遠征大会を名古屋辺りで開催するという案がありましたので、開催日時と場所、それに宿泊施設など色々と調整して探してみましたがなかなか条件を整える事が出来ませんでしたので、急遽開催地を京都に変更して秋季大会を行いました。平成30年10月20日（土）東海道新幹線で、新横浜駅からの乗車組5名に合わせて小田原駅からの乗車組5名が合流して、京都駅には午後6時11分に到着いたしました。既にあたりは暗くなっておりましたので観光する事もなく、駅周辺の宴会場で明日の大会への意気込みを語りつくして宿泊するホテルに向かいました。宿泊先のホテルは京都市左京区にあるホテル平安の森京都で、右には大文字山、左には平安神宮がある静かな時間が流れる場所にありました。翌朝は7時までに朝食を済ませてからタクシーを使って京都市北区西加茂舟山にある京都ゴルフ倶楽部舟山コースに行きました。移動中のタクシーの車内から見る京都の街並みは、早朝の清々しさも相俟ってからか、その昔、修学旅行で訪れた時に見た風景とは違って見えました。家並も道路も街路樹も鴨川の河川敷も実に綺麗で、落ちていたゴミなどは何処にも見当たりませんでした。京都に住んでいる人は実に民度が高いと感じました。京都は「大文字」・「左大文字」・「妙法」・「舟形」・「鳥居形」の5つの山で囲まれておりますが、京都ゴルフ倶楽部のOUTコース1番ホールのすぐ左側に見える山は、京都五山送り火の「舟形」の山でしたので、ご先祖の精霊を送る神聖な場所だけにいつも以上に緊張してプレーをいたしました。

また、このゴルフ場には、昨年、ノーベル医学生理学賞を受賞されました京都大学名誉教授の本庶佑先生もよく来られるそうで、舟山から見渡す比叡の山々や鴨川が流れる京都の街が実に美しく素晴らしく、日本が誇る偉大な先生と景観を共有することが出来てとても嬉しく光栄に思いました。しかし、そのように浮かれているのは東の間のことで、このゴルフコースは実にトリッキーで難しく作られていて、非常に無い頭を使う場面が多くありましたので、終わってみますと体の疲れより頭の疲れの方が多かったような結果となってしまいました。帰りの新幹線は、横浜組が「のぞみ250号」で京都駅を6時26分に出発し、小田原組は6時32分発の「ひかり32

号」で二手に分かれて帰宅の途につきました。肝腎の成績発表は次の通りとなりました。

- 優 勝 久保田大晴 (相模支部)
- 準優勝 松為信夫 (横浜中支部)
- 第3位 上倉隆男 (平塚支部)
- 第4位 新谷久志 (平塚支部)
- 第5位 宮本嘉保 (平塚支部)

次回、平成30年度KGC冬季大会は平成31年3月31日(日)に津久井湖ゴルフ倶楽部で開催いたします。また、平成31年度KGC春季大会は平成31年5月12日(日)に厚木国際カントリー倶楽部で開催致します。当部会へ入会をご希望される方は、平塚支部 宮本嘉保 (☎ 0463-91-0055) か県社団事務所の小田通修事務局長 (☎ 045-473-0735) までにご連絡くださいますようお願い申し上げます。





水口修孝先生を偲んで

横浜北支部 鈴木 慎 吾

私は高校入学時より水口修孝先生に師事してまいりました。

学校卒業後、安定していなかった時期に整復師の道をすすめて下さいました。現役時代声をかけていただいた記憶がない私に会いに来て下さった事で期待に応える為、一生懸命勉強しました。「学ぶ」の語源は「マネブ」だそうです。あらゆる学習は「マネル」ことから始まります。先生を「マネル」ことで自ら考え、意識をもって学んでまいりました。「芸は美しくなければならない」、先生の口ぐせでした。柔整師として柔道指導者として「美しさ」を求めます。又、心は誰よりも人に優しく物事に厳しい先生は、ご自分で何でもでき、特に料理などは拘りがあり手掛けるビーフシチューは絶品でした。

先生から学んだ事を根幹に感謝の気持ちを忘れず、人としての完成を目指します。この度は、機会をいただきありがとうございました。各先生方にお礼申し上げます。



社団法人神奈川県柔道整復師会会員之証
(水口先生手書きの文字)



水口先生手書きによる日大高校柔道場の名札



ホールインワン記念樹にて



日大高校柔道部創部50周年パーティー



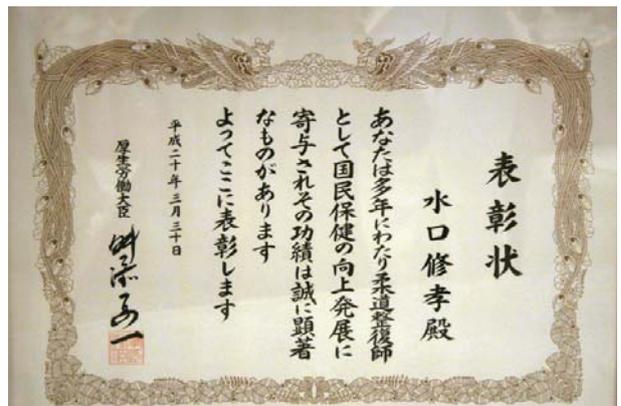
日整柔道大会南関東チーム監督として



日大高校柔道部OB新年会



平成20年6月15日 厚生労働大臣表彰受賞を祝う会



厚生労働大臣表彰表彰状



坂本周作会員を偲んで

横浜西支部 矢 澤 正 司

平成25年8月1日、平塚支部より横浜西支部に施術所を移転し、平成31年1月18日生涯を閉じるまで約5年半、余りにも短すぎる付き合いでした。

移転し横浜西支部の会員になってからも持ち前の明るさで支部員とのコミュニケーションを図り、旅行や納涼会、忘年会等にも多く参加し、支部の中でも存在感のある1人でした。中でも一番に出さなくてはいけないのが、坂本周作イコール柔道です。横浜西支部はここ10年以上本会柔道大会に出場がなく周作が西支部員になってから無理矢理チーム作りをいたしました。時には他支部と合同での出場や、1チーム3名を2名で出場。それでも負けると悔しがる負けず嫌いの顔は今でも思い出します。この1ヶ月、多数の支部員からの思い出を聞かされ、その後でいつも思い出すのは衝撃の一言です。

去年の9月初めごろ、周作が私の治療室を訪ねてきて「癌になっちゃいました。まだ身内ぐらいしか知らないですけど」とあまりにも簡単に話すので、あまりの驚きにその瞬間返す言葉が見つかりませんでした。間を置き、気を取り直して状況を聞くと今詳しい検査中でこれから検査結果や治療方針がわかることを聞かされ、その場は治るものだと信じて話を聞きました。そして後日検査結果を知らされ、ステージ4で治療方針もまだ決定出来ないことを聞き2回目の衝撃が走りました。

しかしさすが周作、その後も癌を感じさせないような日常生活で、治療室も閉めず働き、プライベートでも私が代表を務めるあざみ野柔友会に子供2人を通わせていることから、稽古日の月曜日、金曜日の週2回、稽古の手伝で柔道着を着て子供を指導し、休日には試合の見学や付き添い、道場のイベントにも参加し昨年の11月23日には恒例になった私の家での父兄、子供を集めた餅つき大会を開催。その時も昼は自ら餅をつき、夜は宴会に参加し父兄、子供たちとも楽しく会話し盛り上がりおりました。その姿を見て私も家内も、酒さえ飲みませんが普通に食事をしている元気な姿を見て、思わず周作の奥さんにこんなに沢山好きなものを食べて大丈夫なのか、思わず聞いた位です。そんな勢いで年を越し新年を迎え、倒れる2日前まで道場の稽古に参加しており、倒れて2日目突然の報告に血の気が引きました。実家が宮崎県であることから、横浜には家族以外近くでは3番目のお兄さんがいるだけなので、葬儀のお手伝いをする事になり、段取りをいたしました。通夜にはなんと550人以上が参列、葬儀には100人以上と、彼の人脈を感じながら無事葬儀を終え、次に治療室の片付でバタバタしているうちにもう1ヶ月が過ぎ、最近では長女、次女共に学校も稽古にも日常を取り戻し元気な姿を見せてくれます。奥様はまだ2月に1歳になった三女を抱きながら治療室の整理に奮闘中です。私も手伝いながら突然の出来事に自分の日常を重ね考えさせられます。人それぞれ人生をまっとうする期間が違う中、1日の大切さを教えてもらったような気がします。

最後に、最近三女に会ったのですがまだ1歳なのに顔も態度も周作に何となく似てきたのがほんのちょっと気になります。



平成26年度日整柔道大会優勝



平成28年度日整柔道大会優勝



平成29年度日整柔道大会優勝



平塚支部員として出場

「高校2年の娘が左手小指中節骨掌側の裂離骨折を受傷」

湘南支部 佐藤和義

2月1日金曜日の昼休みに妻と昼食をとっていると、高校2年の娘から妻にメールがありました。

娘「多分突き指した」「結構痛い」

妻「お父さんに言っておくから帰り次第治療だね」

娘「はい」「めっちゃデカイ氷を渡されて真っ赤っか」

このような妻と娘のメールのやりとりがありました。

どうも体育の授業のバスケットボールで床から跳ねたボールが左手小指に当たったようでした。娘は取り敢えず体育の先生に大きな氷をもらい自分で冷やしたようですが、指の感覚が麻痺するほど冷やしてしまったとのことでした。

午後の4時ごろに娘が接骨院に来て、腫れた左手小指を見るとかなりの腫脹と、屈曲制限が認められました。患者さんはそう多くはなかったもので、娘から詳しく負傷の状況を聞き、外観の写真をデジカメで撮りました。(下記の写真を参照)



負傷状況やPIP関節掌側の限局性圧痛、屈曲制限等の諸症状からPIP関節の中節骨基部掌側骨折(掌側板付着部裂離骨折)を想定しながら超音波観察装置のB-mode画像で観察をしました。すると転位のない中節骨基部掌側の裂離骨折が観察されました。(下記の写真を参照)



④中節骨掌側からの長軸画像：左が健側で右が患側



⑤患側の中節骨掌側からの長軸画像

第39回九都県市合同防災訓練に参加して

川崎支部 車 耕 一

9月1日は防災の日。

関東大震災の被害を伝え、今後起こりうる災害をできるだけ最小限にとどめるために、各地で防災訓練が開催されました。

川崎市は、防災の日である平成30年9月1日（土）午前10時～午後12時に、第39回九都県市合同防災訓練（平成30年度川崎市総合防災訓練）を基幹的広域防災拠点が立地する川崎区東扇島を中心に実施致しました。

訓練参加機関数約140機関、主な参加機関は、国、内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、防衛省など、訓練参加及び参加者数約8,000人の方々の参加となりました。

今回の訓練では、防災関係機関相互の連携強化や、誰もが防災について考え行動するきっかけ作りとなるような「見て、体験して、考える」訓練を充実されることが目的です。

そして、防災訓練などをきっかけに、市民の皆さまが防災に関心を持ち、各自の備えにつなげて頂けるように様々な啓発の取り組みを強化していきます。

今回は、いつもの防災訓練と同じでしょ・・という声に答えて、誰でも防災訓練を企画し実施できるツールを作成しました。市民協働型・体験型の特設ブースにて、我々川崎支部からは市民参加型体験訓練としまして、避難生活における「エコノミークラス症候群予防体操」のブースを設けました。

ブースでは、市民の皆さまへの講話及び予防体操の実技を体験して頂きました。2時間で7クール行い、約160人の方々に体験して頂きました。

支部会員による講話は、とても解りやすく、参加された方々にもよくご理解頂いたことと思います。予防体操の実技に関しましても、椅子を使った体操を行い、覚えやすく楽しい実技となりました。毎回ごとに大きな拍手を頂戴致しました。

エコノミークラス症候群を予防するには、体操を行うほか、下記のことにも気をつけますことをお奨め致します。

- ① こまめに十分な水分を取る。
- ② アルコールやタバコは控える。
- ③ ゆったりとした服を着る。ベルトをきつくしめない。
- ④ 眠るときには足を高くする。

九都県市合同防災訓練に参加して、市民の皆さまの防災訓練への関心の高さを感じる事ができました。私たちの活動の継続は、今後も市民の皆さまのお役に立てる事だと思います。



～横浜北支部意見交歓会～

横浜北支部 隆 淳 一

平成30年11月28日（水）午後8時より新横浜グレイスホテル7階にて支部会員26名が出席し、支部顧問医あしほ総合クリニック院長田中正顕先生に御出席していただき、込宮徳久副支部長司会により支部意見交歓会が開催されました。

冒頭、二宮嘉信支部長より、長期にわたり御活躍され支部では大変お世話になりました水口修孝先生、小林栄一郎先生が他界されたとの報告があり、皆で御冥福を祈り黙祷を捧げました。田中正顕先生には、日頃の業務に対する危機管理や対処法など大変為になるお話をしていただきました。また、4月以来の意見交歓会との事で久しぶりに会う諸先輩先生や若い先生方と談笑や勉強になる話を色々聞かせていただいたりと僅な時間でしたが貴重な時間を皆過ごす事ができました。そして、最後にこれからも皆で協力し合い支部の更なる繁栄、向上を願いつつ閉会する事となりました。尚 10月28日（日）に開催された横浜マラソン2018のケア・コンディショニングに早朝より協力していただいた5名の先生方にはこの場を借りてお礼申し上げます。



栄区民まつり

横浜中支部 石 井 健太郎

平成30年11月3日(土)栄区区民まつりが開催されました。横浜中支部では、公益事業の一環として平成28年度から旭区区民まつり・栄区区民まつりに出展し、参加をしてきましたが、今年度は予算や参加人数の関係で栄区区民まつりのみの参加となりました。ここでは、実際に施術をすることはできないので、一般の方に「接骨院・整骨院とはどういうところなのか？」を正しく知っていただくことを目的として活動をしています。

「接骨院と整形外科って何が違うのですか？」

「接骨院と整骨院はどう違うのですか？」

「怪我をした際は、接骨院ではなく病院に行くものだと思っていました。」

「整体はやっていますか？」等、

接骨院の通院歴がない方からの質問は類似しています。接骨院の本質を理解していただく活動として、リーフレットの配布や、体組織計を使用した体成分分析・筋肉量・脂肪・肥満指標・部位別筋肉量・部位別体脂肪量を計測し、その測定結果から柔道整復師として考えられる怪我や転倒などのリスクや予防のための筋力トレーニングをアドバイスするというのを重点的に行っています。

今回も前回同様100名近くの来場者にお越しいただきました。中には前回も参加して非常によかったので今年も来ましたという有難いお言葉をいただくこともできました。

人生100年時代と言われ一般の方の健康に対する意識は大変高いものがあります。その中で接骨院・整骨院というものをうまくアピールできる大変有意義なものになったと思います。



横浜南支部夏期学術講習会

～顧問医浜田洋志先生最新医療を語る～

横浜南支部 新堀 卓哉

高齢者人口のピークは、2042年に3935万人を迎えるといわれている中で、現在も増加中です！そんな時代の中で、我々柔道整復師の、これからを考えていきたいと思っている中、浜田洋志先生をお迎えして、これからの最新の医療をご教授いただきました。

演題は「再生医療PRP（多血小板血漿 Platelet-Rich Plasma）療法」についてです。医師も特別な認可を受けられないといけないということで、大変興味深く、又、先生ご自身も再生医療を中心に挑戦していきたい。という御意志のもと、御講演いただきました。

今、メジャーで大変活躍されています、二刀流の大谷翔平選手や田中将大選手の肘の手術をしたのが、この治療の始まりだそうです。自身の肘や膝の軟骨組織を採り、培養して移植するような手術でも、なかなか簡単には治癒していかず、時間もかなり要するのが現状のようです。

そこで、PRP療法は組織を修復するために自分の血液に秘められた可能性を最大限に生かしていくという治療法だそうです。

おもに筋、腱、靭帯などの痛みに対して最近では関節症に対しても行うようになったそうです。

組織が、修復をしていく為には3つの要素が必要で、

- ①細胞→組織を構成し、維持する働きを持つもの。ex軟骨細胞、コラーゲン細胞。
- ②コラーゲン、ヒアルロン酸→立体構造を作る足場として。
- ③液性成分→細胞に刺激を与えるもの。exサイトカイン、成長因子。

しかし、細胞には物理的な刺激がないと正常組織には戻らず、また、他にもいろいろな組織が含まれるそうです。

ようするにPRP療法は、自然治癒力をサポートし、組織を治癒する治療法で、自分の血液を20ccくらいとり、血液中の血小板が多く含まれる部分のみを抽出し、自己PRPを作成し、このPRPには成長因子が多く含まれるので、それを自分の体の傷んだ部分に注射することにより、その部分の修復がなされるという治療法だそうです。

そして、主に効果が期待できる疾患は、変形性膝関節症・スポーツ障害・外傷など多



方面にわたるそうです。現在、この治療法は、保険診療では認められていない為、自由診療だそうです。PRP療法のような最新治療を待っている患者様は多々おられると思います。これからのさらなる発展を期待したいところです。

浜田先生におかれましては、我が横浜南支部のお願いにご協力くださり、大変感謝の念にたえません。先生ご自身、御開業され、お忙しい中、大変恐縮に存じております。これからも先生のご発展をお祈り申し上げます。

改めまして、浜田洋志先生、ありがとうございました。



総合防災訓練

平塚支部 大久保 吉 純

平成30年9月2日（日）秦野市本町小学校にて総合防災訓練が行われ、今年も災害時の応急処置の指導として患部固定の実演の為に神奈川県柔道整復師会平塚支部から6名が参加いたしました。



平成30年は災害続きでした。

冬は各地で豪雪、春には大分で土砂崩れ、島根などで地震、夏は大阪北部の地震、西日本豪雨災害、全国を襲う記録的な猛暑。火山の噴火も何件か。そのような日々を過ごしてきたためか、防災意識も高まり、悪天候の中でも大勢の市民が防災訓練に参加されました。

今回も例年通り参加者の皆様方に患者役をお願いして、クラメール副子による前腕部固定およびアルフェンスによる拇指固定の実演をした後に、ダンボールや新聞紙を副木代わり、包帯の代わりにタオルやバンダナ、三角巾代わりにスーパーの袋を用いての簡易固定の実演を行いました。



簡易固定が搬送に耐えられるものであると示すためにも、比較対象として、正確なクラメール固定を見せることが大事です。それに私達の技術をアピールする機会でもあるので外し難いのですが、やはり参加者の皆様方は、自分たちが行うかもしれない簡易固定の方が興味があるようです。いっそ、参加者に患者役だけでなく、実際に固定する指導ができればより喜ばれると思われませんが、時間や場所の制約もあるので現状では無理でしたが、私達柔道整復師により興味を持っていただくためにも、見せ方を工夫していきたいものです。

今回は悪天候で屋外での実演でしたので足元がぬかるんでおり、足の固定や搬送法の実演までは手が回らなかったのは残念でしたが、悪条件の中頑張っていたいただいた先生方、市の職員の方々のおかげで好評のうちに実演を終えることができました。



この防災訓練が行われたすぐ後、台風21号が日本を縦断。記録的な高潮・防風・大雨をもたらし、更に畳み掛けるように北海道胆振東部地震も発生し日本中が甚大な被害に見舞われました。特に関西国際空港の水没や西日本の水害、北海道の大規模な地すべり、ライフラインの寸断は強烈な印象を与えたことでしょう。災害はテレビの向こう側のことではなく、私達が直面している問題です。柔道整復師の存在感を示し、社会貢献を続けていくためにも、今後も行政と協力し続けていきたいものです。

大和市駅伝競走大会（スポーツ健康相談）

大和支部 永田浩将

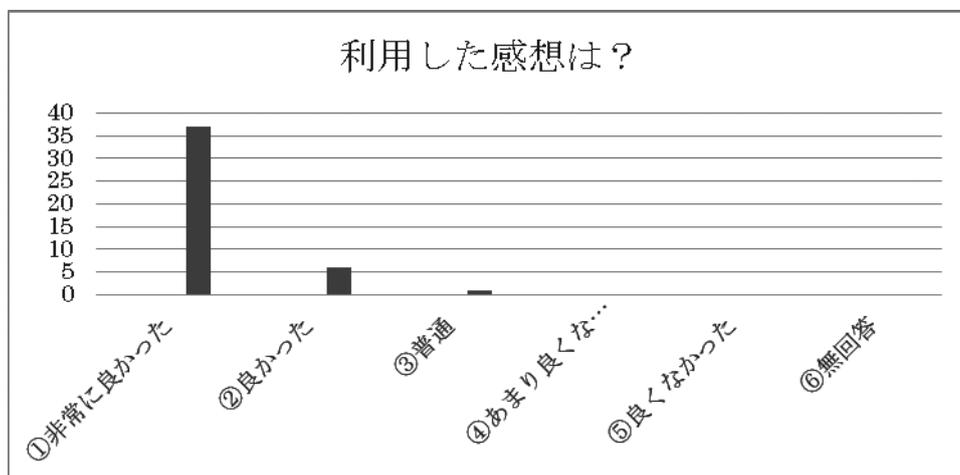
平成31年1月13日（日）、大和なでしこスタジアムにて『第61回大和市駅伝競走大会』が開催されました。大会は「地区対抗の部」「一般A」「一般B」「中学生の部」「ちびっ子の部」の5部門で争われました。コースは、大和なでしこスタジアムを発着および中継点とした周回コースで「地区対抗」と「一般A」が6区間32.546Km、「一般B」・「中学生」が5区間12.858Km。「ちびっ子の部」は、競技場内のトラックを利用した5区間1.6Km。今大会には元日のニューイヤー駅伝に出場したプレス工業陸上部が「一般A」に、女子サッカーチームの大和シルフィードが「一般B」で、それぞれゲスト出場しました

大和支部は、公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団より依頼を受け、『スポーツ健康相談』を支部員4名で行いました。

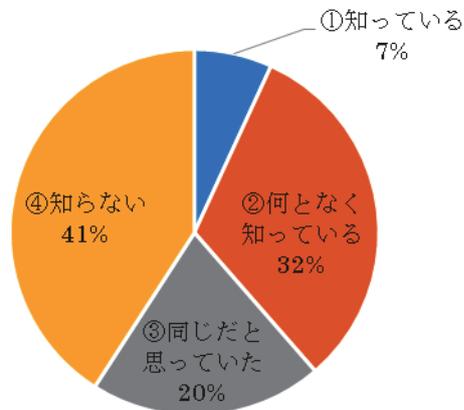
駅伝大会での活動は4回目となり、昨年から選手が利用しやすい所に移し認知して頂いた効果もあり、利用者数は昨年38名から今年は53名と大幅に増えました。レース前にはコンディショニングや不調を訴えて来られた方に対しストレッチやテーピング、運動指導を中心に対応し身体の動きやすさを実感してもらいました。またレース後は腰背部や下肢の張りを訴えてこられた方が多くリカバリーに務めました。選手から『レース前より軽い！もう一度走れそう！』など声もあり大盛況で終わることが出来ました。

本活動は、コンディショニングの重要性を理解して頂く場である事は当然ですが、何より柔道整復師、接骨院・整骨院をアピールする場になってきていると感じています。

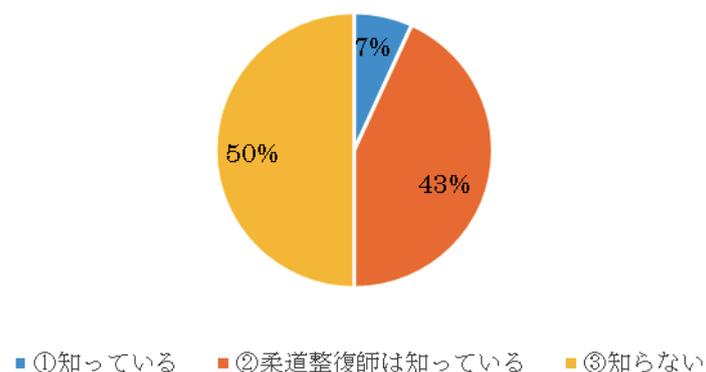
53名の利用者のうち44名にアンケート（無記名）にご協力いただきましたので紹介いたします。



接骨・整骨とカイロ・整体の違いを知っているか



公益法人神奈川県柔道整復師会を知っているか



その他のコメント

- ・会場にいてくださるのは、とても心強いです。
- ・やさしくアドバイスを頂き、試してみようと思いました。
- ・自分ではわからなかったところを指摘してもらえて良かった。
- ・ストレッチの仕方を教えてもらって良かった。
- ・相談にのって下さり、とても参考になりました。本当にありがとうございました
- ・普段のケアを大切にしていきたいと思いました。
- ・背部のストレッチや正しい姿勢をととても分かりやすく教えて頂きました。もともと姿勢は正しい方だと思っていましたが、我流だったので専門の方にアドバイスを頂けて自宅でも継続していけそうです。

その他、お礼の言葉も多数の意見をたくさん頂きましたが、アンケート結果を見ると柔道整復師、接骨院・整骨院の認知度がまだまだ低いと痛感しました。今後も院内だけに留まらず様々な活動を通し普及活動の力を入れていきたいと思えます。

相模支部に入会して一年を振り返って

相模支部 椎 名 孝 之

平成29年11月より神奈川県柔道整復師会・相模支部に入会させて頂き、まだ日は浅いのですが“相模支部の先生方は仲がよい”という噂はそれ以前より耳にしておりました。

開業より暫く他会に所属していた私ですが、会員同士の横つながりも全く無いのはもちろんの事、業界の情報や連絡等も皆無で常に孤独感と疑問を感じつつ業務に追われていました。

今回入会にあたり、使用していたクラウド型のレセコン停止や各変更手続き等、多少の苦難はありましたが、一念発起した私を噂通りの団結力と和やかな雰囲気であたたかく迎え入れ、ご指導くださっている支部皆様にはとにかく感謝しております。入会后、12月2日に行われた荻谷保険部長の支部保険勉強会に早速参加させて頂いたのですが、保険調査の現状など今までの環境では耳にする事が出来ない貴重な内容一つ一つに「ほんとに入会した甲斐があったなぁ…」と感激も一入でした。

12月9日の支部忘年会では先生方の砕けた一面が見られたり、内閣府副大臣あかま二郎先生のお話を拝聴できたりととても刺激的なものでした。

何より新入会員である私に次々と声を掛けてくださる先生方の心遣いは琴線に触れるものがありました。

1月20日 ホテル千寿閣で行われた支部賀詞交歓会では支部顧問医の病院協会名誉会長 黒河内先生・医師会顧問 西川先生をはじめ、行政・市政・公共団体等、議長・局長様、先生方など錚々たる来賓の皆様には驚かされました。

この相模支部組織力の強さに身の引き締まる思いを感じつつ、皆様との素晴らしい出会いにも感謝している次第です。

小田原支部活動報告書

小田原支部 山本裕太

小田原支部の活動として、平成31年1月25日に小田原支部顧問医の医療法人小林病院理事長小林泉先生をお迎えして「小林泉先生を囲む会」を開催させていただきました。

前回は骨粗鬆症や、ロコモシンドローム等の講義をしていただきましたが、今回は各支部の先生方の質問等を小林先生にお答えいただく形をとり、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

主な質問内容としては、現在流行しているインフルエンザについて、腸の環境が免疫に関係していることについて、医接連携についてなどでした。

近年は、健康保険の取り扱いが厳しくなっているからこそ、医接連携が我々にとって必要不可欠であると再認識させられました。

また、医師会においても柔整師に対する評価が厳しくなっている中、小田原支部顧問医である小林泉先生は柔整師を、特に神奈川県柔道整復師会小田原支部員を理解し、評価していただける稀有な存在です。

これからますます柔整師にとって、苦難な時代になってくると思いますが、悪い物は排除し、良い物を発展させ、世間・保険組合・医師等に認めてもらう努力をしなければいけないと感じました。

支部活動として、医師、行政とのつながりは大事な事だと感じています。普段なかなか医師の方とはここまでゆっくりお話をする機会がない為、今回の活動により、それぞれの分野の知識を最大限活用し、同じ医療従事者として、情報の交換や共有、アイデアの出し合い、さらには一つの問題を解決に導く場として、このような貴重な交流会を今後も続けていく必要があると思いました。

「心臓が断固拒絶する坂」

事務局 高木 良平

平成30年4月22日(日)、箱根の山道を走る陸上競技大会「箱根ランフェス」に、小田事務局長と共に参加してまいりました。昨年に引き続いて2大会連続出場です。

大会名だけを見ると大変ポップな印象ですが、走るコースは4kmに渡って続く箱根の急坂を登り、折り返してひたすら下るといいます。しかも、この傾斜が半端ではありません。陸上長距離走競技の表現に「心臓破りの坂」という言葉がありますが、このコースの上り坂は、言わば「心臓が断固拒絶する坂」であり、走る意欲を失わせる、およそ人が走るのには無理がある坂です。今大会にゲスト参加されていた、かつての山の神と言われた柏原竜二氏(写真左)に、「箱根駅伝の坂よりも確実にきつい」と言わしめたほどなのです。

なぜそんな坂道を、わざわざ2年も連続して走るのか。それは、己自身に苛烈な試練を課し、心身を成長させることで、日々の業務、いや、人生において遭遇する様々な困難に立ち向かえる様な、そんな強靱な精神を獲得するためです、というのはおおげさ、小田事務局長から半強制的なお誘いをいただいて参加しているからです。

ただ、人間というのは面白いもので、過酷で大変なことも楽しみに変換することができます。2回目を走り終えた今思うことは、また来年も走りたいということでした。走っている最中は心の底から参加したことを後悔するのですが、まったくもってこの心変わりが不思議です。

結果としては、小田事務局長が年代別3位、私自身が総合で4位に入り、それぞれ表彰台に上がり記念品を獲得することができました。この広報誌「和」が発行される頃には、また第3回大会が開催されますので、懲りずに参加し、さらなる上位入賞を目指し頑張りたいと思っております。

ご拝読いただきありがとうございます。





日常川柳

平塚支部 石川照夫

この俺が 席を譲られ みる鏡

定年後 男も似合う 割烹着

揉めるほど あれば嬉しい 遺産額

日産に 諸行無常の 鐘の音

信号が 空に無いから 酒を飲み



編集後記

広報部

本年は4月30日に天皇陛下が譲位され、皇太子さまが5月1日に新天皇となり、平成から新元号に変わる。我が業界も大正9（1920）年に柔道整復術として公認されてから100年を迎え、3月7日に日整社団設立65周年記念式典と併せて、パレスホテル東京にて祝賀会が盛大に開催された。

一重に公認100年と言っても、その以前から現在に至るまで、先人の計り知れないご尽力と数多くの犠牲のもと生まれたものである。しかしながら現在殆どの柔整師が行う術は、元来の術とは違っているようにも思われ、存在がなくなる危機感さえある。そんな中、日整で柔整術を存続させるため行っていることに、約15年前からODAによるモンゴル国での活動があり、今年度から行う予定のベトナム国での活動がある。落馬による骨折の多いモンゴル国においては、医学部の学生や地方に勤務する医師に柔整術を伝授したことを評価され国立健康科学大学附属伝統治療学校に柔整コースが開校した。2020年東京オリ・パラでの協力要請がモンゴル国政府、駐日大使館大使からきている。また、オートバイによる交通事故が多いベトナム国では、政府保健省からの要請にて国立病院の医師に対して柔整術を伝授することにより、ベトナム国において柔整師国家資格が適用されるようになる。

これらの活動は、モンゴル・ベトナム両国に柔整術が浸透し継承されることは当然のことではあり、まだ活動以前で希望的観測ではあるが、我々がベトナム国にて健康保険を適用することができる接骨院（仮名）を開業することができる。柔整校の学生や研修生を含む骨折・脱臼などの臨床実技実習を行える。そして、日本国民に対して真の柔整術の認知度が高まることとなる。

今後10年・20年・100年と未来永劫、我ら柔整師という高きプライドを持ち続け伝承しなくてはならない。

表紙説明

「開成町あじさいまつり」 足柄上郡開成町にて

2019年6月1日（土）～9日（日）にかけてあじさいまつりが開催されます。東京ドーム3.6個分の広大な水田地帯にブルー、ピンク、紫、白色等のあじさいが約5000株咲き誇り田園を散策することができます。期間中は数多くのイベントが開催され多くの人でにぎわいます。初夏の開成町の風物詩の一つに数えられる。「かながわ花名所100選」の一つ。

場 所：「あじさいの里」足柄上郡開成町金井島1421番地

交 通：小田急線「開成町」下車 シャトルバスで約10分

駐車場：あり

小田原支部 山階裕介



平成31年3月31日

発行人 公益社団法人神奈川県柔道整復師会
会 長 牧 野 吉 一
〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-23-11
T E L 045-473-0735 (代)
F A X 045-474-0628 (専)
<http://www.sekkotu-kanagawa.com>

編集人 広報部長 田 澤 裕 二

印刷所 有 限 会 社 吉 岡 印 刷
〒232-0061 横浜市南区大岡3-4-8
T E L 045-741-3452
F A X 045-712-6823

